



11・3「止めよう改憲発議」国会前大行動

憲法公布から72年目の記念日に上記の集会が行われました。好天に恵まれ参加者は1万8千人。集会の様子をごく簡単にお伝えします。

ジンタラムータの心地よい音楽から始まり、福山真劫・実行委員会共同代表の開会宣言、続いて各政党から来年の参院選は野党が共闘して1人区を勝ち取らなければならないと熱いメッセージが発せられた。私たちの代田・九条の会で11月24日に講演される清水雅彦・日体大憲法学教授は安倍首相が憲法は国の理想というのが憲法は国家権力を縛るもの、憲法を守らなければならないのは国民ではなく権力の座にいる安倍首相なのだ。憲法違反も甚だしい安倍首相と封建時代の法の支配を取り込もうとする稲田元防衛大臣を厳しく批判した。小森陽一・九条の会事務局長は韓国の草の根市民運動に学び、市民が共闘して世論を変えていかなければならない。そのためには3千万署名を必ず成功させることが大事で、もう署名をしたという人に署名用紙を渡して今度はあなたが署名を集めてくださいという具体的な提案がされた。高島鈴代さんから沖縄はあきらめないでじわじわ態勢を整え玉城デニー知事を誕生させた。諦めないことをオール沖縄から学んでほしい。小宮山泰子さんは安倍政権が企業の利益のために国民働かせ改革をしていると批判。カナダ在住で教育学研究者の久保田さんは日本の愛国教育、道徳教育に疑問を投げかけた。愛国心を上から押し付けようとしても育たない、国に誇りを持ってたとき湧き出るものだから。小学校1年生の道徳の教科書にウソをつかない、ごまかさない、約束を守るとあるがまず首相が守っていない。ピースボートの川崎さんは核兵器が抑止力になると核兵器禁止条約に日本は反対している。自衛、領土保存が戦争の始まりだと述べた。憲法24条変えないキャンペーンの濱田すみれさんは自民党の改憲草案に家族主義をうたっているが個人の人権があってこそその家族、会社、社会だと訴えた。最後に実行委員会の高田健さんが今後の行動日程を述べて閉会となった。



憲法改悪を絶対止めさせなければという強い意志が集会全体から伝わってきた。私は改憲を許さないという思いを広げていくには署名活動のほかになにをしなければならぬのか改めて考えさせられたのです。

(代田5丁目・日暮恵子)

最近の報道から

秋の臨時国会の冒頭、10月24日に安倍首相は所信表明演説で、「国の理想を語るものは憲法です。憲法審査会において、政党が具体的な改正案を示すことで、国民の皆様の理解を深める努力を重ねていく。そうした中から、与党、野党といった政治的立場を超え、できるだけ幅広い合意が得られると確信しています。そのあるべき姿を最終的に決めるのは、国民の皆様です。制定から七十年以上を経た今、国民の皆様と共に議論を深め、私たち国会議員の責任を、共に、果たしていこうではありませんか。」と、改憲への意欲を述べました。

しかし、① 行政府の長としての首相は憲法擁護の義務を負っています。また三権分立のもとで「立法府」の国会議員に指示をするような発言は許されません。② 憲法は「国の理想」を示す部分はあるものの、本来は国のあるべき姿を示すものです。そして現在の立憲主義の憲法のもとでは、実現されていない憲法の条項をしっかりと実施していくことが求められているのです。③ 2014年以降憲法を踏みにじって、集団的自衛権の行使容認や共謀罪法など憲法違反の状況を作ってきたことを反省することの方が先決です。

自民党は10月の党大会以降、改憲に向けて陣容を整備し直し、早ければ次の通常国会にも改憲案を提示して一気に改憲を狙っています。ただ、国会審議は、閣僚の資質にかかわる問題や入管法改正案の問題で先行きが見通せていない上に、10月に自民党憲法推進本部長になった下村博文氏が、憲法審査会の早期開催に応じない野党側を「職場放棄」と筋違いの発言で、衆議院憲法審査会の幹事を辞任する見通しとの報道もあります。

各種の世論調査の結果でも、今の政治に求めていることは、災害対応、生活対応などが多数を占め、今、安倍政権のもとで憲法論議をすることに消極的です。こうした声をさらに大きくしてあきらめさせることが大切だと思います。

(代田2丁目・伊東 宏)

伊藤 真さんの講演

「9条は日本の宝、世界の宝！～9条を活かすためには？」

11月10日(土) 「世田谷九条の会 創立13周年のつどい」に参加

凄いや強い講演でした。都合で少し遅れたそうでチェロの演奏は間に合ったものの「鳥の歌」を聴けなかったのを残念がっていました。その鳥がピースピースと鳴くと伊藤さんの解説がありました。やや早口で抑揚がある話し方に、こちらは聞き入ってしまい、一つの芸ではないかと思えてきました。

講演の導入部で3000万改憲反対署名が、今2080万筆との報告あり、本題に入っていました。

日本は九条があったから朝鮮戦争、ベトナム戦争、アフガン、イラクに参戦しないで済んだ。

第二次大戦で、アメリカ合衆国の発砲率が20%くらい。その抵抗感をなくして兵士を戦場に送ったが、戻ってきても元の自分に戻れず自殺する人が多いということ。

日本では軍事武器輸出を促進、それが国策。

今のままでは九条改憲是非は国民投票。どんな投票率でも過半数で決定される。

これらの話を休みなく1時間30分たっぷり。

(梅丘1丁目・湯沢 勉)



伊藤真さんの講演レジメから

安倍改憲の背後にあるもの

- (1) 日本経済界の強い欲望
→経団連の意向
 - (2) アメリカと米軍の強い要請の固定化
→日本の安全保障は米軍の要請
 - (3) 戦前回帰の執念
・復古主義、大国主義、民族主義、軍国主義
- ★これらも「9条の2」加憲によって正当化、固定化

憲法9条の国際性と先駆性

- ・国際公約としての憲法9条
→国際社会の一員として特にアジア諸国民から承認されるための国際公約を宣言したもの。
- ・国連憲章の先を行く先駆性
→戦力不保持と交戦権否認(9条2項)は国連憲章を越える。
→核兵器を使ってしまった人類の課題を自覚。
→平和の視座を国家から個人に転換し、人権として保障した(平和的生存権)。
→「人間の安全保障」「平和への権利」の理念の先取り

最後に

- 1 明日の日本は今日の私たちが創る。
→今を変えれば未来を変えられる。
憲法の理想に現実を近づけることこそ必要。
- 2 今を生きる者としての責任を果たし誇りを持つ。
→憲法を知ってしまった者として今できることを。
市民として主体的に行動する。
- 3 Festina Lente (ゆっくりいそげ)
慌てず、焦らず、諦めず、
一步一步が大切。

集会等の紹介

11月24日(土) 午後3時10分～ 代田・九条の会 創立10周年のつどい

講演:「自民党憲法九条改憲は、日本をどう変えるのか、

私たちの生活へどう影響を与えるのか」

清水 雅彦さん(日本体育大学教授・憲法学、九条会世話人)

会場:代田区民センター 第1・第2会議室 世田谷区代田6-34-13

連絡先 代田・九条の会 資料代:500円

12月7日(金) 午後6時～7時

区内駅頭一斉宣伝行動 (下北沢、豪徳寺、成城学園前、千歳烏山)

オオゼキ前付近に集合

主催:戦争させない!九条壊すな!世田谷区民連絡会

日本国憲法(抜粋)

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



お願い:ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。

また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう～